

事前評価調書

I 事業概要						
事業名	道路事業					
地区名	一般県道 <small>こまきいわくらいちのみやせん</small> 小牧岩倉一宮線					
事業箇所	小牧市 <small>たきひがしまち</small> 多気東町					
事業のあらまし	<p>一般県道小牧岩倉一宮線は、小牧市から一宮市に至る路線であり、名古屋高速道路小牧線や国道41号などに接続し、尾張地域の道路ネットワークを構成する道路である。</p> <p>当地域の名古屋空港に隣接する地区は、南海トラフ地震及びスーパー伊勢湾台風等の大規模災害時に全国からの応援人員や物資等を円滑に受け入れ、被災物資を地域の防災拠点に迅速かつ的確に供給する機能を有する基幹的広域防災拠点の計画地とされており、当該事業区間は基幹的広域防災拠点へのアクセスを担う道路である。</p> <p>このため、名古屋高速道路や国道41号などの幹線道路から基幹的広域防災拠点へのアクセス性向上を主な目的として、一般県道小牧岩倉一宮線の現道拡幅を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 地震・津波対策（基幹的広域防災拠点へのアクセス性向上）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費	内訳				
	12.2億円	■工事費6.8億円、■用補費4.5億円、■その他0.9億円				
事業期間	採択予定年度	2021年度	着工予定年度	2022年度	完成予定年度	2025年度
事業内容	現道拡幅（延長：0.6km、車線数：2車線、幅員：17.5m）					
II 評価						
①事業の必要性	1) 必要性	<p>(1) 地震・津波対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当地域の名古屋空港に隣接する地区では、南海トラフ地震及びスーパー伊勢湾台風等の大規模災害時において、全国からの応援人員・物資等を円滑に受け入れ、被災物資が地域の防災拠点に迅速かつ的確に救急する基幹的広域防災拠点の計画地とされており、当該事業区間は基幹的広域防災拠点へのアクセスを担う道路として、交通を円滑にする必要がある。 				
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p>			<p>【理由】</p> <p>基幹的広域防災拠点へのアクセス性向上のため、事業実施の必要性が高い。</p>

②事業の実効性	1) 事業計画	【事業計画】					
			2022	2023	2024	2025	合計
	工種区分	調査・設計	←→				
		用地補償	←→				
工事				←→			
・土工				←→			
・橋梁工				←→			
	・舗装工				←→		
	事業費（億円）	12.2				12.2	
	2) 地元の合意形成	・ 早期に事業説明会を開催し、沿線地権者の理解を得る。					
	判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。				
			【理由】 ・ 円滑な事業環境が整っており、計画の実行性が確保されている。				
III 対応方針（案）							
	事業実施が妥当である	事業実施が妥当である。：上記①～④の評価ですべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。					
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容							
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 【主な評価内容】 交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度							